

変化と課題に柔軟に対応し続ける

外部環境の変化や経営・サービスにおける課題を踏まえて、令和6年度より新たな中長期計画を策定しました。今回の計画は、期間中に2025年、いわゆる団塊の世代が75歳以上を迎える時期と重なります。サービスの質の向上の4本柱の更なる推進を図ることで、地域の実情に応じたサービスを提供できるように、法人理念である「思いやり・優しさ・愛情」を常に意識して、職員一丸となって事業に取り組んで参ります。



令和6年～令和8年 社会福祉法人小越会 中長期計画 サービスの質の向上 4本柱

- ICT・介護機器の導入と活用
- 人材育成
- リスク管理
- 自立支援・重度化防止

- ・自立支援型介護提供の組織風土作りの醸成
- ・職員の意識向上のための継続的な教育・研修の実施
- ・利用者の個性に力を入れた活動を提供
- ・日常生活の中で利用者が自ら選択して自己決定が出来るよう支援する
- ・全職員がBCPに基づいて行動・対応できるように繰り返し訓練を行う
- ・法令を遵守し、適正に対応する
- ・感染防止、利用者の健康管理に努める
- ・働きやすい職場環境作り
- ・資格取得の支援
- ・年齢、性別を問わない多様な人材育成
- ・外部の専門職を講師とした研修の実施
- ・機器導入の目的を常に明確にして取り組む
- ・使用方法を振り返り、課題に真摯に取り組み
- ・更なる活用方法がないか、常に模索する
- ・ノーリフティングケアの推進
- ・デジタル化の更なる推進に向け、利用者等の視点を意識した「分かりやすい説明」と情報発信を行う

令和3年度～令和5年度の取組み

- 全事業所でBCPを策定し、令和6年度からの実践・活用に向けた土台作りを行った。
- 権利擁護強化のため、法人指針を見直し、職員に対して計画的に研修を実施した。
- 資格取得や専門職更新研修の費用負担を行った。5名の職員が国家資格を取得した。
- 施設内グループウェアの活用により、業務効率がアップした。
- 家族連絡用アプリの導入。写真や動画を活用。家族に対して適性な情報発信ができた。
- 法人設立30周年記念として、ホームページリニューアルに取組んだ。
- 授産活動収入がアップし、一人当たり平均2万円(月額)の工賃の支払いに繋がった。

このサービスを体験して欲しい!!

職員がイチ押しする小越会のサービスを紹介します!!

介護リフトのメリットは ご利用者にあり!



介護リフトの利点というと、「腰痛予防」「一人で平行移動を行える」といった『介助者側』の利点が多いですが、実は「怪我をしない」「拘縮や褥瘡の予防」等、『利用者側』にも利点は多くあります。双方が苦痛なく移乗を行うため、介護リフトは重要な存在です。

お勧めした人
主任機能訓練指導員 佐藤 拓也

ご利用者の睡眠を妨げることなく 支援ができる!



眠りスキャンを導入し、睡眠状況、呼吸、心拍、起き上がりといった情報を職員はモニターを通して確認しています。睡眠状況がリアルタイムで把握できるため、ご利用者の睡眠を妨げない夜間巡視に繋がりました。取組みを始めたばかりのため、コールに振り回されることもありますが、利用者個々の状態を把握し、眠りスキャンを有効活用して、ご利用者がゆっくり眠り、朝にはすっきり目覚められるような支援を目指して取り組んでいます!

お勧めした人
従来型介護主任 山本 千代子

ご利用者、職員双方の負担が少ない



「自分で起きることが出来ないで、職員さんから介助してもらっている。『ささえ手』が無かったら、職員さんも大変だと思う。自分は、ささえ手で介助してもらった時、とても楽です。」とご利用者の方がおっしゃっていました。ご利用者も安心、職員も腰痛の不安なく支援ができ、安心・安全なサービス提供に努めています。

お勧めした人
ユニット型介護職員 中澤 未悠

お待たせする時間を少なくします!



インカムの導入により職員間の情報共有にも役立っていますが、介助中に手が離せない場面でも離れている職員の応援をすぐに呼べることもあり、ご利用者に呼ばれた際にお待たせする時間を短縮できたり、一人だと転倒の危険がある方に素早く対応するなど転倒リスクの軽減などができるようになってきています。

お勧めした人
高齢介護課係長 吉田 美樹

利用者の会議に大活躍



しぶみ工房では、会議毎に会議録や記録等の印刷を予め行ってから会議に参加していましたが、タブレットを購入することで、タブレット1台で記録の閲覧が出来るようになり、ペーパーレスにもなりました。他にもタブレットでスケジュール管理のアプリを導入し、会議等のダブルブッキング防止や予定変更がスムーズになり、スケジュールの管理がしやすくなった事で、業務の効率アップに繋がりました。

お勧めした人
サービス管理責任者 楠野 真弓

時間を気にせず連絡できる!



こしじの里からのお知らせをスマホで確認することができます。メッセージが届くので、ご家族からは「仕事の合間など、自分のタイミングに合わせての確認・返信ができるから便利だ」と好評を得ています。現在、デイサービス、ショートステイ、従来型・ユニット型特養、居宅介護支援事業所がメルタスを導入しています。複数の事業所からのお知らせもまとめて確認ができるため、ご家族の負担も軽減されます。

お勧めした人
相談係長 阿部 瑞穂

ご利用者と一緒に楽しみながら、 災害対策を身に付ける



“こしじの里・しぶみ園夏祭り”に変わって、昨年度から“防災フェスティバル”を開催しています。全ての職員が災害対応マニュアルに沿って実践できるように、プロパンガスの使用方法や給食課以外の職員による災害時の炊き出し訓練など、防災訓練を楽しく体験し、実践力を身に付けられるよう取り組んでいます。ご利用者も職員と一緒に防災訓練に参加することで、災害が発生したときに落ち着いて行動する意識の醸成にも力を入れています。次年度は家族や地域の方からも参加してもらえような防災フェスティバルを開催したいと考えています。その際はぜひご参加ください。今年は10月3日開催です!

お勧めした人
災害対策副委員長・主任管理栄養士 佐藤 文子



ポッチャ体験教室 地域の人と交流できる!



パラリンピックでも盛り上がった“ポッチャ”が体験できる教室を今年度から始めました。ポッチャが初めての人も楽しんで参加できるように職員がサポートします!ポッチャだけでなく、希望があれば福祉施設の見学もできます。※ご希望の方は開催予定日の2ヶ月前にご連絡ください。TEL 0258-41-0803 (しぶみ園 高橋まで)

お勧めした人
サービス管理責任者 高橋 隆仁

より安心して過ごせます!



センサーカメラの導入により、いままでのセンサーではベッドから離れた際にしか対応できなかったところを起き上がりや端坐位などの細かい状態まで把握できるようになり、見守りの精度が上がっています。またカメラで居室での様子をシルエットで確認できるので、夜間などに不要な訪室を少なくでき、安眠にもつながり、職員も訪室することが少ないと、別のケアに力を入れることもできます。

お勧めした人
生活相談員 小林 信太郎

憩いの場『オレンジカフェ』



オレンジカフェは、認知症の人や家族、地域の方など誰もが参加できる集いの場所です。情報交換ができ、「ホッと」した気持ちで参加できる場です。様々な活動を通して認知症の理解や日頃の介護についての疑問等、何でも気軽に話せる、気分転換が出来るカフェです。認知症だけではなく健康に関してのお話や、運動、折り紙、フラワーアレンジメントなどの制作活動といった様々な活動を行っています。興味のある方は気軽にお声掛けください。

お勧めした人
オレンジカフェ担当 井田 麻美

しぶみ園



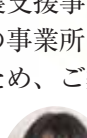
おこしの里



おこしの里



こしじの里



しぶみ園

しぶみ工房



こしじの里

